

エンハーツ療法

FN：－ 催吐性：－

診断名：HER2 陽性乳癌

○投与スケジュール（1 コース 21 日間）

Day1（点滴）：エンハーツ 5.4mg/kg

○注意事項副作用に対する休薬、減量及び中止基準）

●間質性肺疾患

Grade 1 の場合：投与を中止し、原則として再開しない。ただし、すべての所見が消失し、かつ治療上の有益性が危険性を大きく上回ると判断された場合のみ、1 用量レベル減量して投与再開することもできる。再発した場合は、投与を中止する。

Grade 2～4 の場合：投与を中止する。

●左室駆出率（LVEF）低下

40% ≤ LVEF ≤ 45%：ベースラインからの絶対値の低下 < 10%

休薬を考慮する。3 週間以内に再測定を行い、LVEF を確認する。

40% ≤ LVEF ≤ 45%：ベースラインからの絶対値の低下 ≥ 10%かつ ≤ 20%

休薬し、3 週間以内に再測定を行い、LVEF のベースラインからの絶対値の低下 < 10%に回復しない場合は、投与を中止する。

LVEF < 40%又はベースラインからの絶対値の低下 > 20%

休薬し、3 週間以内に再測定を行い、再度 LVEF < 40%又はベースラインからの絶対値の低下 > 20% が認められた場合は、投与を中止する。

●症候性うっ血性心不全

投与を中止する。

●QT 間隔延長

Grade 3 の場合：Grade 1 以下に回復するまで休薬し、回復後、1 用量レベル減量して投与再開する。

Grade 4 の場合：投与を中止する。

●Infusion reaction

Grade 1 の場合：投与速度を 50%減速する。他の症状が出現しない場合は、次回以降は元の速度で投与する。

Grade 2 の場合：Grade 1 以下に回復するまで投与を中断する。再開する場合は投与速度を 50%減速する。次回以降も減速した速度で投与する。

Grade 3 又は 4 の場合：投与を中止する。

●好中球数減少

Grade 3 の場合：Grade 2 以下に回復するまで休薬し、回復後、1 用量レベル減量又は同一用量で投与再開する。

Grade 4 の場合：Grade 2 以下に回復するまで休薬し、回復後、1 用量レベル減量して投与再開する。

●発熱性好中球減少症

回復するまで休薬し、回復後、1 用量レベル減量して投与再開する。

●貧血

Grade 3 の場合：Grade 2 以下に回復するまで休薬し、回復後、同一用量で投与再開する

Grade 4 の場合：Grade 2 以下に回復するまで休薬し、回復後、1 用量レベル減量して投与再開する。

●血小板数減少

Grade 3 の場合：Grade 1 以下に回復するまで休薬する。7 日以内に回復した場合は、同一用量で投与再開する。7 日を過ぎてから回復した場合は、1 用量レベル減量して投与再開する。

Grade 4 の場合：Grade 1 以下に回復するまで休薬し、回復後、1 用量レベル減量して投与再開する。

●総ビリルビン増加

Grade 2 の場合：Grade 1 以下に回復するまで休薬する。7 日以内に回復した場合は、同一用量で投与再開する。7 日を過ぎてから回復した場合は、1 用量レベル減量して投与再開する。

Grade 3 の場合：Grade 1 以下に回復するまで休薬する。7 日以内に回復した場合は、1 用量レベル減量して投与再開する。7 日を過ぎてから回復した場合は、投与を中止する。

Grade 4 の場合：投与を中止する。

●下痢又は大腸炎

Grade 3 の場合：Grade 1 以下に回復するまで休薬する。3 日以内に回復した場合は、同一用量で投与再開する。3 日を過ぎてから回復した場合は、1 用量レベル減量して投与再開する。

Grade 4 の場合：投与を中止する。